



<目次>

県計画各論シリーズ

<特集>

人づくりの促進

- ♣ 教育計画10
- ♣ 労働計画27
- ♣ 社会文化計画31

横顔

1. 生活の中の体育 / 豊田小学校12
2. 父親の試食会も / 城東小学校13
3. 中堅技能者の養成 / 職業訓練所27
4. 文化活動で明るい職場 / 十条製紙KK28
5. 知識と文化の泉を運ぶ /
いずみ号・なかよし号33

<第一線の人びと>

- ルポ 分校の先生25

<ひとこと>

山下 信年・杉本 三郎・畠山 正

新春
雑感

水野破魔子・金栗四三・江藤和彦
鰐淵健之・波多野がく・山口順吉

★グラビヤページ★

- 若者のうたごえ 3
- <特集>若い芽よすこやかに17
- 第一線の人びと24
- 新産業風土記 / キジ馬37
- 県政ハイライト38

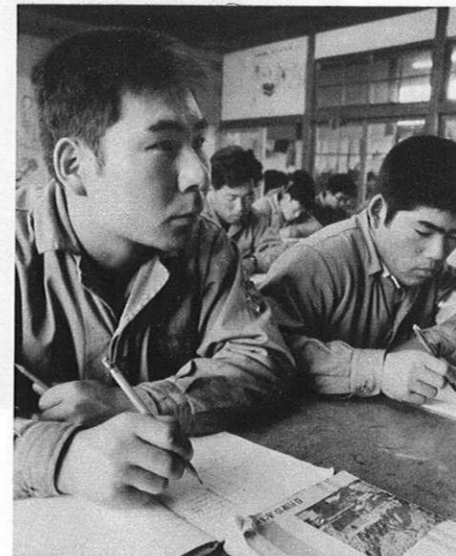
表紙 / 駿馬・センター / 大津街道の杉並木



上・大型自動車の運転実習風景



上・土木工事実習として災害復旧事業に...



上・学科の勉強は夜の部になる



上・きびしい訓練の余暇に楽しいレクリも...

誇りと情熱

産業開発青年隊訓練所にて

時間と規律にしばられた厳しい隊内生活でしたが、実社会へ出てはじめてあの頃の訓練の尊さが身にしみてわかりました。訓練の余暇に声をはりあげて歌った隊歌も、すばらしい青春のヒトコマとして忘れられないものとなりました。訓練所を卒業して就職していったKさんの便りである。

訓練所ではこれまで三期の卒業生九〇名を第一線へ送り出している。就職先は主に建設業、土地改良事業所、市町村役場の技術関係だ。ところでこの産業開発青年隊は昭和二十八年に建設省の事業として創設されたもので、県では、三十七年に菊池郡大津町に発足した。目的をひと口でいうと地域産業開発における技術者の養成だが、建設機械の技術全般から土地改良、草地改良などの技術まで科目はいろいろある。実習として、測量、ブルや大型自動車の運転などあり、県の直営工事が実習場になる。現在隊員は第四期生で三十五名、きびきびした若者ばかりで実習もつい熱っぽくなる。朝六時に起床、点呼、朝食。七時三〇分から実習。夕食後七時から九時まで学科講義といった具合にキメ細かくて厳しい隊内生活だが、それだけに充実した生活態度から生まれる誇りと情熱を身をもって感じとっているわけである。